

7. 中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業、民間中心市街地商業活性化事業、その他の経済活力の向上のための事業及び措置に関する事項

[1] 経済活力の向上の必要性

(1) 現状分析

日本でも有数のアーケード街を有する中央商店街を含む中心市街地は、第1期計画における市街地再開発事業により、再開発ビルがオープンするなど、商店街の店舗数は増加傾向にありますが、一方で、空き店舗率が悪化する商店街があるなど、中央商店街全体での魅力の創出が図られていません。そのため、周辺市町からの買物流入を示す小売中心性指数は低下しており、郊外型店舗の立地と相まって、中心市街地の商業拠点性が低下していることがうかがえます。また、令和5年度の市民満足度調査では、「中心市街地の活性化」に対する不満度が全60項目のうち、「公共交通の利便性の向上」、「商工業の振興」、「拠点性を高める交通網の整備と利用促進」に次いで、ワースト4位となるなど年々悪化傾向にあることから、中心市街地の魅力が低下している現状が伺えます。

(2) 経済活力の向上のための事業の必要性

中心市街地には、商店街の物販店や飲食店を中心に、観光・教育文化・医療・地域産業など多様な都市機能が集積しており、これらを利用する市民に対して、中心市街地における各種情報を発信し、回遊による滞在時間を拡大することで市民の満足度を高め、中心市街地の活性化を図ることが必要です。

また、香川県は、令和元年にインバウンド宿泊者数の増加率が全国トップとなっており、コロナ禍を経て再び回復傾向にあることから、国内外の観光客を誘客できる施設整備や、中央商店街の情報を発信して、観光客などにも商店街への来街意欲を促し、来街者の回遊性を高めることでにぎわいを創出し、経済活力の向上を図ります。

(3) フォローアップの考え方

フォローアップについては、課題解決に向けた定期的な協議・情報共有を図るとともに、毎年度末に事業の進捗管理を行い、必要な事業の改善措置を講じることとします。

[2] 具体的事業の内容

(1) 法に定める特別の措置に関連する事業

13. 【事業名】 第一種大規模小売店舗立地法特例区域の設定

【事業実施時期】	平成 19 年度～		
【実施主体】	香川県		
【事業内容】	大規模小売店舗立地法の手続きに関する簡素化の措置を行います。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	歩行者等通行量（全日）		
【活性化に資する理由】	大規模小売店舗の迅速な立地を促進し、中央商店街の再生・活性化を図るため、中心市街地において大規模小売店舗の新設等の手続きを緩和する等の特別措置を講ずるものです。中央商店街の魅力や商業機能の向上に資するもので、中心市街地の活性化に必要です。		
【支援措置名】	大規模小売店舗立地法の特例（第一種大規模小売店舗立地法特例区域）		
【支援措置実施時期】	平成 19 年度～	【支援主体】	経済産業省
【その他特記事項】	－		

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

14. 【事業名】 さぬき高松まつり

【事業実施時期】	昭和 39 年度～		
【実施主体】	高松まつり振興会		
【事業内容】	「さぬき高松まつり」は、讃岐路の真夏の夜を彩る祭典として、市民をはじめ、多くの観光客にも親しまれる「瀬戸の都・高松」にふさわしい一大イベントとして、中央公園・中央通りをメイン会場に、盛大に開催するものです。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが訪れたいくなる中心市街地 みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	中心市街地内の宿泊者数 歩行者等通行量（全日）		
【活性化に資する理由】	中央公園・中央通りをメイン会場に、讃岐路の真夏の夜を彩る祭典として、市民をはじめ、多くの観光客にも親しまれ、「瀬戸の都・高松」にふさわしい一大イベントです。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 7 年 4 月～令和 12 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

15.【事業名】高松市市民文化祭アーツフェスタたかまつ

【事業実施時期】	昭和 50 年度～		
【実施主体】	高松市		
【事業内容】	サンポートホール高松をメイン会場とし、市民の皆さまが創造・参加する市民企画提案型の文化の祭典として、多彩なジャンルの文化芸術団体が「高松の芸術」を披露する一大イベントです。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	歩行者等通行量（全日）		
【活性化に資する理由】	開催期間中は、サンポートホール高松を中心に、多くの方が様々な分野の公演や展示を楽しめる事業であり、中心市街地の賑わい創出に繋がるものです。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 7 年 4 月～令和 12 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

16.【事業名】新春子どもフェスティバル

【事業実施時期】	昭和 52 年度～		
【実施主体】	新春子どもフェスティバル実行委員会		
【事業内容】	中央公園、高松市役所、四番丁スクエアを会場とし、子どもたちが作成した「高松わくわくかるた」を使ってのかるたとり大会をはじめ、ドッジボール大会やすもう大会を実施するほか、新春にふさわしい多くの楽しい遊びのプログラムを市内の子どもたちに提供し、寒さに負けない元気な子どもの育成と、子ども会活動の発展に役立ちます。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	歩行者等通行量（全日）		
【活性化に資する理由】	各校区の子どもたちが競技や遊びを通して交流を深めるとともに、子ども会活動が活発に行われるようになることで、中心市街地の魅力向上に資するため、中心市街地活性化に必要です。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 7 年 4 月～令和 12 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

17.【事業名】高松市美術館教育普及事業

【事業実施時期】	昭和 63 年度～		
【実施主体】	高松市		
【事業内容】	ワークショップ（美術講座）、子どものアトリエ（小中学生対象の制作講座）、「ふらっとアート」（子ども対象の造型プログラム）を実施します。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが訪れたいくなる中心市街地 みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	中心市街地内の宿泊者数 歩行者等通行量（全日）		
【活性化に資する理由】	商店街に隣接する施設で広く市民に向けた事業を実施することにより、相互的な利用者の増加が見込まれます。また、商店街が生み出した商業・経済的な賑わいととも、文化施設である美術館が活発な活動を行うことにより、多面的な賑わいをもたらすことができます。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 7 年 4 月～令和 12 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

18.【事業名】高松市美術館展覧会事業

【事業実施時期】	昭和 63 年度～		
【実施主体】	高松市		
【事業内容】	特別展（４展程度、年間 180 日前後）、コレクション展（４展程度、年間 280 日前後）を開催します。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが訪れたいくなる中心市街地 みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	中心市街地内の宿泊者数 歩行者等通行量（全日）		
【活性化に資する理由】	商店街に隣接する施設で広く市民に向けた事業を実施することにより、相互的な利用者の増加が見込まれます。また、商店街が生み出した商業・経済的な賑わいととも、文化施設である美術館が活発な活動を行うことにより、多面的な賑わいをもたらすことができます。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 7 年 4 月～令和 12 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

19.【事業名】高松市美術館催し物事業

【事業実施時期】	昭和 63 年度～		
【実施主体】	高松市		
【事業内容】	エントランス活用事業（公募）（年 6 回程度）、エントランス・ミニコンサート（年 4 回程度）、友の会ふれあいコンサート（友の会と共催、年 1 回程度）を開催します。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが訪れたいくなる中心市街地 みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	中心市街地内の宿泊者数 歩行者等通行量（全日）		
【活性化に資する理由】	商店街に隣接する施設で広く市民に向けた事業を実施することにより、相互的な利用者の増加が見込まれます。また、商店街が生み出した商業・経済的な賑わいととも、文化施設である美術館が活発な活動を行うことにより、多面的な賑わいをもたらすことができます。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 7 年 4 月～令和 12 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

20.【事業名】高松市文化芸術活動助成事業

【事業実施時期】	平成 14 年度～		
【実施主体】	高松市		
【事業内容】	文化芸術団体が実施する文化芸術に関する事業に必要な経費の一部を補助することにより、自主的な文化芸術活動の促進を図り、地域に根ざした創造的な文化芸術の振興と発展に寄与することを目的とします。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	歩行者等通行量（全日）		
【活性化に資する理由】	補助金対象の事業のうち半数以上の事業が高松市中心市街地で開催されていることから、高松市内外から多くの来客を見込める事業です。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 7 年 4 月～令和 12 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	※区域内で実施される事業のみ対象		

21.【事業名】サンポートホール高松自主事業

【事業実施時期】	平成 17 年度～		
【実施主体】	公益財団法人 高松市文化芸術財団		

【事業内容】	演劇・落語・影絵劇・クラシックコンサート等、幅広い実演芸術分野で質の高い作品を紹介し、多くの方に鑑賞機会を提供することにより、文化芸術の創造と振興普及を図ります。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが訪れたいくなる中心市街地 みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	中心市街地内の宿泊者数 歩行者等通行量（全日）		
【活性化に資する理由】	サンポートホール高松を中心として、多くの方に多彩な実演芸術を鑑賞いただけることから、中心市街地の賑わい創出に繋がる事業です。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和7年4月～令和12年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

22. 【事業名】高松まちかど漫遊帖事業

【事業実施時期】	平成 18 年度～		
【実施主体】	高松まちかど漫遊帖実行委員会		
【事業内容】	おもてなしの心で観光資源を紹介する「市民ツアープロデューサー」を核に、市民自らが飲食・見学・体験等、受け入れてくれる店舗・施設と協議を行うほか、ガイド内容、実施日、価格等を計画します。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	歩行者等通行量（全日）		
【活性化に資する理由】	歴史探訪のみならず、食・産業その他高松の隠れた観光資源を発掘し、市民が主体となり自らコースを作成。まち歩きガイドを実施しながら、高松の魅力を様々なジャンルで紹介し、観光客の誘致を図り、まちの活性化を図ります。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 7 年 4 月～令和 12 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内外		

23. 【事業名】高松国際ピアノコンクール

【事業実施時期】	平成21年度～		
【実施主体】	実行委員会（本市を構成員に含む。）		
【事業内容】	高松から世界レベルの音楽を発信するとともに、地域の活性化、音楽芸術の振興、国際的な文化交流の推進などを目的として4年に一度開催しています。コンクールが開催されない年度においても、審査員や入賞者		

	によるリサイタルや公開レッスン、地域・学校での演奏会等の事業を展開しています。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが訪れたいくなる中心市街地 みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	中心市街地内の宿泊者数 歩行者等通行量（全日）		
【活性化に資する理由】	浜松国際ピアノコンクール、仙台国際音楽コンクールと並ぶ日本三大ピアノコンクールの一つとして、様々な国から参加者を集めており、サンポート高松等の中心市街地に多くの人を集めるだけでなく、高松市の中心市街地を国際的にPRする機会となっています。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和7年4月～令和12年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	※区域内で実施される事業のみ対象		

24.【事業名】サンポート高松トライアスロン大会開催事業

【事業実施時期】	平成 22 年度～		
【実施主体】	サンポート高松トライアスロン大会実行委員会		
【事業内容】	サンポート高松周辺及び中心市街地に賑わいを創出する目的で、市民の有志が実行委員会を立ち上げ、平成 22 年から開催されている全国的にも珍しい民間主導の都市型トライアスロン大会です。美しい瀬戸内海を泳ぎ、オフィス街である「中央通り」を自転車で走るコース設定は、市街地が海に近く、都市と自然が調和する本市の魅力を十分にアピールすることができる”まちなか”トライアスロンとなっており、参加選手だけでなく、市民にも高松の魅力を再発信できます。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが訪れたいくなる中心市街地 みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	中心市街地内の宿泊者数 歩行者等通行量（全日）		
【活性化に資する理由】	観光と交流人口を基盤とするサービス産業の振興、国籍や文化を超えた国際交流の促進、来街者の回遊促進に資するもので、中心市街地活性化に必要です。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 7 年 4 月～令和 12 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

25.【事業名】 まちなかパフォーマンス事業

【事業実施時期】	平成 23 年度～		
【実施主体】	各イベントの実行委員会（本市を構成員に含む。）		
【事業内容】	街クラシック i n 高松など、まちなかコンサートを実施することで、高松市中央商店街やサンポート高松エリアの賑わいを創出します。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	歩行者等通行量（全日）		
【活性化に資する理由】	高松市中央商店街・サンポート高松エリアにおいて、多くの方に多彩なパフォーマンスを鑑賞いただけることから、中心市街地の賑わい創出に繋がる事業です。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 7 年 4 月～令和 12 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

26.【事業名】 創造支援センター運営事業

【事業実施時期】	平成 24 年度～		
【実施主体】	高松市		
【事業内容】	創造性に富む発想や独自性のある技術を活用した新規事業者等の活動拠点としてのインキュベーター施設の運営です。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	歩行者等通行量（全日）		
【活性化に資する理由】	創造性に富む発想や独自性のある技術を活用して、新たに事業を営もうとする者等を支援することにより、特色ある事業の創出及び地域産業の振興に寄与するとともに、入居期間満了後も、本市を活動拠点とすることから、中央商店街の活性化及び地域経済の振興に資するもので、中心市街地の活性化に必要です。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 7 年 4 月～令和 12 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

27.【事業名】 高松市中央商店街空き店舗活用事業

【事業実施時期】	平成 24 年度～		
【実施主体】	高松市		
【事業内容】	中央商店街の区域に所在する空き店舗に新たに出店する事業者に対し、必要な改修費等の一部を補助するものです。		

活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	歩行者等通行量(全日)		
【活性化に資する理由】	中央商店街の空き店舗に新規事業者が出店することにより、中央商店街の更なる魅力向上とにぎわいを創出することができ、中央商店街の活性化及び地域経済の振興に資するため、中心市街地の活性化に必要です。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和7年4月～令和12年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

28.【事業名】中心市街地商店街活性化支援事業

【事業実施時期】	平成 25 年度～		
【実施主体】	高松市		
【事業内容】	商店街振興組合等が行う魅力ある商店街づくりに向けた事業に要する経費の一部を補助するものです。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	歩行者等通行量（全日）		
【活性化に資する理由】	商店街団体等が実施するアーケードや街路灯などの設備の設置・維持等のハード事業をはじめ、広域的又は他団体と連携して取り組むまちづくり事業や、空き店舗を活用したソフト事業を支援することにより、主体的なまちづくりを促進し、商店街の魅力向上を図り、中央商店街の活性化及び地域経済の振興に資するもので、中心市街地の活性化に必要です。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業 中心市街地再活性化特別対策事業		
【支援措置実施時期】	令和 7 年 4 月～令和 12 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

29.【事業名】高松城跡和船体験事業

【事業実施時期】	平成 25 年度～
【実施主体】	香川県造園事業協同組合
【事業内容】	平成 25 年に松平公益会から和船玉藻丸が寄贈されて以来、玉藻公園内堀で和船体験事業を毎年 3 月～11 月にかけて実施するものです。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	みんなが訪れたくなる中心市街地 みんなが巡ってみたいくなる中心市街地

【目標指標】	中心市街地内の宿泊者数 歩行者等通行量(全日)		
【活性化に資する理由】	日本三大水城のひとつであり、市街地の中に存在する珍しい城跡である玉藻公園（高松城跡）を活用し、観光の活性化を図ることで、高松市の観光における交流・体験型観光を促進します。また、玉藻公園は市街地に立地しており、乗船後のサンポートエリアの観光、商店街への移動が想定されるため、中心市街地のにぎわいに通じます。今後の玉藻公園（高松城跡）への関心を一層高めるために必要な事業です。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和7年4月～令和12年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

30. 【事業名】障がい者就労支援促進事業

【事業実施時期】	平成 26 年度～		
【実施主体】	高松市		
【事業内容】	高松中央商店街空き店舗活用「障がい者就労の場」雇用創出事業 商店街空き店舗にて障がい者を雇用し事業を行う企業・団体等を対象に、公募選考し、事業費の助成を行う。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	歩行者等通行量（全日）		
【活性化に資する理由】	中央商店街の空き店舗問題を解消するためです。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 7 年 4 月～令和 12 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

31. 【事業名】外国人観光客受入拠点事業

【事業実施時期】	平成 28 年度～
【実施主体】	香川県観光協会
【事業内容】	観光客の増加が期待できる台湾、中国、韓国等の東アジアを中心とした、外国人観光客の来訪を促進するとともに、来訪する外国人観光客の利便性の向上を図るため、多言語で対応可能な観光案内を行います。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	みんなが訪れたくなる中心市街地 みんなが巡ってみたいくなる中心市街地

【目標指標】	中心市街地内の宿泊者数 歩行者等通行量(全日)		
【活性化に資する理由】	外国人観光客の玄関口である、ＪＲ高松駅に隣接する高松オルネ１階観光案内所「香川・高松ツーリストインフォメーション」において、常時多言語（英語、中国語、韓国語）にて対応し、高松市及び香川県内を主とした観光案内を行うほか、周辺地域の観光案内、交通機関等の各種案内に関する情報を提供し、本県を訪れる観光客等の利便性の向上に貢献しているため。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和７年４月～令和１２年３月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

32.【事業名】サンポート高松にぎわい創出事業

【事業実施時期】	令和 6 年度～		
【実施主体】	一般社団法人 街角に音楽を@香川		
【事業内容】	瀬戸内の島々へのマザーポート機能を兼ね備えた高松港において、国内外からの観光客誘致や滞在・夜型観光の促進につながる質の高い観光交流イベントの開催に当たり、事業提案を募集し、事業者に対し開催支援を行います。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが訪れたくなる中心市街地 みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	中心市街地内の宿泊者数 歩行者等通行量(全日)		
【活性化に資する理由】	観光客の多い高松港での長期的なイベントであるため、国内外からの観光客誘致や宿泊等滞在時間の拡大による地域経済の活性化を図られるとともに、瀬戸内国際芸術祭が開催される年には、相乗効果が期待できるものです。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 7 年 4 月～令和 12 年 3 月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

33.【事業名】シティプロモーション人的ネットワーク運営事業

【事業実施時期】	令和５年度～		
【実施主体】	高松市		
【事業内容】	本市のシティプロモーションの担い手となる人的ネットワークを運営し、中心市街地を中心とした本市の魅力を発信することで、中心市街地		

	の賑わい創出、本市への交流人口・関係人口の拡大を図るものです。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	歩行者等通行量（全日）		
【活性化に資する理由】	中心市街地活性化のためのまちづくりリーダーを中心に、人的ネットワークを構成し、本市の魅力を発信することで、中心市街地への来訪者の増加と賑わい創出につながるためです。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和7年4月～令和12年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

34. 【事業名】商店街伴走型支援事業

【事業実施時期】	令和6年度～		
【実施主体】	高松市		
【事業内容】	中央商店街振興組合等を対象に、3年計画で人材育成・ノウハウの蓄積・ビジョン策定・独自性の創出に向けた取組を伴走型で支援するものです。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	歩行者等通行量（全日）		
【活性化に資する理由】	中央商店街振興組合等が自主的に取り組むソフト事業を伴走型で支援することにより、主体的なまちづくりを促進し、商店街の魅力向上を図ることができ、中央商店街の活性化及び地域経済の振興に資するもので、中心市街地の活性化に必要です。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和7年4月～令和12年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

35. 【事業名】クルーズ船誘致受入事業

【事業実施時期】	令和5年度～
【実施主体】	香川県
【事業内容】	香川県と連携し、観光PRイベントやクルーズ船会社へ本市の情報発信を行い、クルーズ客船受入れ時の歓迎セレモニーを実施します。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	みんなが訪れたいくなる中心市街地

	みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	中心市街地内の宿泊者数 歩行者等通行量（全日）		
【活性化に資する理由】	高松港周辺は、駅から近接した位置にあり、離島を結ぶ多数のフェリーや高速船が就航しているほか、クルーズ客船も入港する等、人流・賑わいの拠点です。高松港へのクルーズ船の寄港は、外国船会社を中心に平成25年以降増加傾向にあり、高松港時には、主要観光地へ商店街にバスやタクシー、徒歩で移動され、地域経済の活性化がもたらされています。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和7年4月～令和12年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

36. 【事業名】史跡高松城跡ライトアップ事業

【事業実施時期】	令和5年度～		
【実施主体】	高松市		
【事業内容】	中心市街地での夜型観光の新たな資源として、文化財の新たな価値を創出するため、史跡高松城跡玉藻公園内のライトアップを実施し、中心市街地の活性化と本市の認知度向上を図るものです。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが訪れたいくなる中心市街地 みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	中心市街地内の宿泊者数 歩行者等通行量（全日）		
【活性化に資する理由】	JR 高松駅からアクセス良好であり、高松観光の拠点になり得る史跡高松城跡玉藻公園でライトアップを実施することで、中心市街地の夜型観光での推進、観光客の滞在時間の延長、観光消費額の増加につなげるためです。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和7年4月～令和12年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内		

56. 【事業名】かがわマラソン開催事業

【事業実施時期】	令和7年度～		
【実施主体】	かがわマラソン実行委員会、香川県、高松市、綾川町		
【事業内容】	サンポート高松をメイン会場とした、県内初のフルマラソン大会で、瀬戸内海や里山・都市といった、香川県ならではの風景を楽しみながら走っていただくことができます。		

	香川の食文化や伝統芸能でのおもてなしなど、ランナーもボランティアも応援する人も、みんなが楽しめて、県民全体で盛り上がる、特別なスポーツイベントです。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが訪れたくなる中心市街地 みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	中心市街地内の宿泊者数 歩行者等通行量（全日）		
【活性化に資する理由】	マラソン大会を通じて、スポーツ文化の醸成だけでなく、サンポート高松周辺での関連イベント等の開催により、香川の魅力発信や交流人口の拡大が見込まれるため。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和8年4月～令和12年3月	【支援主体】	総務省
【その他特記事項】	区域内外		

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業
該当なし

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

37. 【事業名】香川県立ミュージアム文化事業

【事業実施時期】	平成20年度～
【実施主体】	香川県
【事業内容】	ミュージアム本館（玉藻町）では、香川県の歴史と空海の生涯を紹介した展示のほか、大規模な特別展やコレクションを活用した常設展（歴史・美術他）を開催しています。講演会や学芸講座、トークイベント、ワークショップ、子ども向けイベント、コンサートなどを実施しています。 昔の遊びや時代衣装の着付けの体験事業も行っています。 香川県文化会館における貸館事業を行っています。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	みんなが巡ってみたいくなる中心市街地
【目標指標】	歩行者等通行量（全日）
【活性化に資する理由】	歴史博物館と美術館の機能を合わせ持つ、総合的なミュージアムとして、歴史的資料や芸術作品の展示のほか、体験型イベントを行います。 また、分館の香川県文化会館（県民ギャラリー、芸能ホールなど）では、県内外の方々に文化芸術活動の発表の場を提供します。 来街者の回遊促進に資するものであり、中心市街地の活性化に必要です。

【支援措置名】	国宝重要文化財等保存・活用事業		
【支援措置実施時期】	令和7年度～	【支援主体】	文部科学省
【その他特記事項】	-		

38. 【事業名】ART SETOUCHI（瀬戸内国際芸術祭）

【事業実施時期】	平成 22 年度～		
【実施主体】	瀬戸内国際芸術祭実行委員会		
【事業内容】	3 年に一度の現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」のほか、芸術祭開催年以外でイベント等により瀬戸内海の魅力発信・誘客の活動を実施します。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが訪れたいくなる中心市街地 みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	中心市街地内の宿泊者数 歩行者等通行量(全日)		
【活性化に資する理由】	「海の復権」をテーマに掲げた 3 年に一度開催する現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」をはじめ、開催年以外も島の伝統文化や美しい自然を生かした現代美術を通して瀬戸内海の魅力発信や、誘客の活動のイベント等を通して行うことで、国内外から多くの人々が訪れるものです。にぎわいの創出や来街者の回遊促進に資するもので、中心市街地の活性化に必要です。		
【支援措置名】	国際文化芸術発信拠点形成事業		
【支援措置実施時期】	平成 30 年度～	【支援主体】	文部科学省
【その他特記事項】	－		

39. 【事業名】サンポートFACTプロジェクト（エリアマネジメント）

【事業実施時期】	令和３年度～
【実施主体】	サンポート高松地区エリアプラットフォーム
【事業内容】	民間が主体となったまちづくりを積極的に行えるように、新たな合意形成体（エリアプラットフォーム）によるエリアマネジメントを導入します。「サンポート FACT プロジェクト」では、公共空間の開放やイベント情報の一元発信など、社会実験を実施しています。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	これからも持続的に成長する中心市街地
【目標指標】	データ連携基盤を活用した事業数
【活性化に資する理由】	本市のにぎわい創出の中心となるサンポート高松地区において、エリアマネジメントによる民間主体のまちづくりとして、にぎわいの創出や同

	地区の価値向上を目指すことは、来訪者が増えることにより中心市街地への流入・回遊性促進に資するもので、中心市街地活性化に必要です。		
【支援措置名】	官民連携まちなか再生推進事業		
【支援措置実施時期】	令和3年度～	【支援主体】	国土交通省
【その他特記事項】	-		

40. 【事業名】美しいまちづくり推進事業

【事業実施時期】	令和6年度～令和7年度		
【実施主体】	高松市		
【事業内容】	高松市景観計画の改定に併せて、中心市街地の夜間景観について検討し、夜間景観ガイドラインにとりまとめるものです。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが訪れたくなる中心市街地 みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	中心市街地内の宿泊者数 歩行者等通行量(全日)		
【活性化に資する理由】	良好な夜間景観の形成は、地域住民にとって住みよい環境に誘導するとともに、国内外からの観光客の訪問先となる魅力あるまちづくりを推進し、地域の魅力の強化、来街者の回遊促進に資するもので、中心市街地活性化に必要であるためです。		
【支援措置名】	景観改善推進事業		
【支援措置実施時期】	令和6年度～令和7年度	【支援主体】	国土交通省
【その他特記事項】	-		

(4) 国の支援がないその他の事業

41. 【事業名】商店街共同施設整備事業

【事業実施時期】	昭和 47 年度～
【実施主体】	高松市
【事業内容】	商店街振興組合等が実施するアーケード・カラー舗装・立体駐車場等、一般公衆の利便を図るための共同施設の整備・修繕等にかかる経費の一部を補助するものです。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	みんなが巡ってみたいくなる中心市街地
【目標指標】	歩行者等通行量（全日）
【活性化に資する理由】	商店街団体等がアーケードや街路灯といった一般公衆の利便性を図るための共同施設の新設・補修を行うことで、来街者が快適・安全に過ごすことができ、再訪したくなるような商店街の魅力向上を図り、生活サ

	ービス機能の充実、来街者の回遊促進に資するもので、中心市街地の活性化に必要です。		
【支援措置名】	-		
【支援措置実施時期】	-	【支援主体】	-
【その他特記事項】	-		

42. 【事業名】高松市生涯学習センター運営事業

【事業実施時期】	平成 14 年度～		
【実施主体】	高松市		
【事業内容】	生涯学習に係る機会の総合的かつ効果的な提供を促進し、市民の生涯学習の振興に努めます。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	歩行者等通行量(全日)		
【活性化に資する理由】	生涯学習センターにおいて、市民の生涯学習の振興のため、生涯学習に係る機会の総合的かつ効果的な提供を行う。来街者の回遊促進に資するもので、中心市街地活性化に必要です。		
【支援措置名】	－		
【支援措置実施時期】	－	【支援主体】	－
【その他特記事項】	－		

43.【事業名】観光客誘致事業

【事業実施時期】	平成 18 年度～		
【実施主体】	公益財団法人 高松観光コンベンション・ビューロー		
【事業内容】	着地型旅行（ぷち旅プラン）：高松市民や香川県民といった「近場へ行く」個人客の誘客や他県からの団体旅行造成のため、身近な観光資源の掘り起こしや体験プログラムの開発事業に助成を行います。 瀬戸内海クルーズ：瀬戸内海に面した優位性を生かした観光振興を図るため、クルーズ事業提案を募集し、採用された事業に助成を行います。 サンポート高松イベント大募集！：サンポート高松のにぎわい創出を図るため、イベント提案を公募し、採用されたイベント事業に助成を行います。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが訪れたいくなる中心市街地 みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	中心市街地内の宿泊者数 歩行者等通行量（全日）		
【活性化に資する理由】	国内外からの来訪者に対する受入環境の整備を行い、他地域との差別化を図ることで、観光客誘致や滞在時間の拡大に貢献するものです。		
【支援措置名】	－		
【支援措置実施時期】	－	【支援主体】	－
【その他特記事項】	－		

44.【事業名】香川県県民ホール文化事業

【事業実施時期】	平成 18 年度～
【実施主体】	指定管理者穴吹エンタープライズ株式会社 香川県
【事業内容】	音楽、演劇、舞踊、伝統芸能等、あらゆる舞台芸術公演や各種ワークショップを開催し、県民への文化芸術の振興・普及事業を実施しています。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	みんなが巡ってみたいくなる中心市街地
【目標指標】	歩行者等通行量（全日）
【活性化に資する理由】	国際的な芸術団体の招致や、優れた舞台芸術の公演、普及事業の開催等により、県民が文化芸術を享受する機会を提供しています。サンポート地区や中心市街地の回遊促進に繋がる文化芸術事業です。
【支援措置名】	－

【支援措置実施時期】	-	【支援主体】	-
【その他特記事項】	-		

45. 【事業名】高松丸亀町商店街情報発信事業

【事業実施時期】	平成 25 年度～		
【実施主体】	高松丸亀町商店街振興組合		
【事業内容】	商店街や周辺観光などの情報を提供しています。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	歩行者等通行量(全日)		
【活性化に資する理由】	外国人観光客などの来訪者に対して商店街の店舗情報やイベント情報などローカルな情報に加え、中央商店街全体の情報や広域的な観光情報等を提供し、利用促進と回遊性の向上を図ります。来街者の回遊促進に資するもので、中心市街地の活性化に必要です。		
【支援措置名】	－		
【支援措置実施時期】	－	【支援主体】	－
【その他特記事項】	－		

46. 【事業名】丸亀町商店街イベント事業

【事業実施時期】	平成 27 年度～		
【実施主体】	高松丸亀町商店街振興組合		
【事業内容】	高松丸亀町商店街の年間を通じたイベントを開催します。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	歩行者等通行量（全日）		
【活性化に資する理由】	高松丸亀町商店街において、丸亀町祭、街クラシック、ハロウィンパーティ、町にサンタがやってくるなど恒例行事のイベントを、年間を通じて実施し、商店街への誘客とにぎわい創出を行います。 来街者の誘客、回遊促進に資するもので、中心市街地の活性化に必要です。		
【支援措置名】	－		
【支援措置実施時期】	－	【支援主体】	－
【その他特記事項】	－		

47. 【事業名】高松市創業支援等事業

【事業実施時期】	平成 27 年度～		
【実施主体】	高松市		
【事業内容】	高松商工会議所や金融機関等の地域の創業支援事業者と連携して創業者や創業希望者等を支援するものです。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	歩行者等通行量(全日)		
【活性化に資する理由】	利便性のよい中心市街地でのセミナー等の開催や中央商店街での創業は、中心市街地の活性化、来街者の回遊促進に資するもので、中心市街地の活性化に必要です。		
【支援措置名】	－		
【支援措置実施時期】	－	【支援主体】	－
【その他特記事項】	－		

48. 【事業名】まちの駅「smile' s」運営事業

【事業実施時期】	平成 29 年度～		
【実施主体】	高松ライオン通商店街振興組合		
【事業内容】	高松ライオン通商店街に商店街に関わる人達の交流の場、インバウンド向けの情報発信拠点を運営しています。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	歩行者等通行量（全日）		
【活性化に資する理由】	高松ライオン通商店街に整備したまちの駅「smile’ s」を多目的交流施設として、商店街関係者の交流、起業する女性の創業支援（シェアショップ等）、地域住民や学生の活動スペース、若者や主婦などが参加する実習型ワークショップ「ライオンまち塾」及び、国内外の観光客に対する情報提供などを行います。 来街者の回遊促進に資するもので、中心市街地の活性化に必要です。		
【支援措置名】	－		
【支援措置実施時期】	－	【支援主体】	－
【その他特記事項】	－		

49. 【事業名】たかまつユニバーサルデザインマップ活用事業

【事業実施時期】	平成 30 年度～		
【実施主体】	高松市		

【事業内容】	全ての人が安心して快適に過ごせるように、施設におけるユニバーサルデザイン情報を掲載した「たかまつユニバーサルデザインマップ」の充実を図るとともに、活用を推進します。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが巡ってみたいくなる中心市街地 みんなが住みたいくなる中心市街地		
【目標指標】	歩行者等通行量（全日） 中心市街地の社会動態		
【活性化に資する理由】	本市全域を安心して快適に、移動・滞在・観光することができることを情報発信することで、誰もが来街しやすくなることから、中心市街地活性化に必要です。		
【支援措置名】	－		
【支援措置実施時期】	－	【支援主体】	－
【その他特記事項】	－		

50. 【事業名】南部3町商店街活性化マチカドプラザ事業

【事業実施時期】	平成 30 年度～		
【実施主体】	株式会社高松南部 3 町商店街プロジェクト		
【事業内容】	商店街や組合の情報を提供しています。 商店街内外の連携を促進する企画を実施しています。 学生、若年層の情報共有の場を作っています。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	歩行者等通行量(全日)		
【活性化に資する理由】	南部 3 町商店街の活性化拠点施設であるマチカドプラザにおいて情報カウンターやサイネージによる商店街の情報発信、各種情報発信ツールによる各店舗情報の提供などを行うとともに、店舗間や外部企業・団体との連携を促進する企画を実施することで、新たな魅力作りによる注目度の向上や、情報発信力の強化を図ります。隣接している集いの場として 4 町パティオの有効活用を検討するなど、利用促進と回遊性を高めます。 来街者の回遊促進に資するもので、中心市街地の活性化に必要です。		
【支援措置名】	－		
【支援措置実施時期】	－	【支援主体】	－
【その他特記事項】	－		

51.【事業名】香川県立アリーナ管理事業

【事業実施時期】	令和6年度～		
【実施主体】	指定管理者香川アリーナコンソーシアム (代表企業穴吹エンタープライズ株式会社) 香川県		
【事業内容】	中四国最大級の約1万人を収容可能なメインアリーナのほか、サブアリーナ、武道施設、会議室等を備えた県立アリーナを管理運営し、コンサートやMICE、プロスポーツや大規模なスポーツ大会等の開催により、交流人口の拡大やにぎわいづくりにつなげます。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	みんなが訪れたいくなる中心市街地 みんなが巡ってみたいくなる中心市街地		
【目標指標】	中心市街地内の宿泊者数 歩行者等通行量(全日)		
【活性化に資する理由】	競技スポーツ施設、生涯スポーツ施設としての機能に加え、コンサートやMICEなど、多くの集客交流が見込まれるイベントが開催できる交流推進施設としての機能を備えた県立アリーナを管理運営するものです。 サンポート高松エリアにおけるにぎわいづくりにより、広域圏からの誘客力向上に資するもので、中心市街地の活性化に必要です		
【支援措置名】	-		
【支援措置実施時期】	-	【支援主体】	-
【その他特記事項】	-		